



EAH-AZ70W

ワイヤレスステレオインサイドホン
取扱説明書

このたびは、テクニクス製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(→ 右記)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書付き

■さらに詳しい説明は
さらに詳しい操作説明は、「取扱説明書 <詳細編>」(PDF形式)に記載されています。
下記のWebサイト、または右記QRコードからダウンロードしてお読みください。
<https://jp.technics.com/support/downloads/oi/EAH-AZ70W.html>



●「取扱説明書 <詳細編>」(PDF形式)を開覧・印刷するためには、Adobe Readerが必要で、Adobe Readerは、下記のサイトからダウンロードできます。(2020年1月現在)
<http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep2.html>

本書内の表現について
●製品のイラストは、実際と異なる場合があります。

付属品

- 付属品をご確認ください。
- USB 充電ケーブル(1本)
 - イヤーピース(S、M、L、XL 各2個)(Mはイヤホンに装着)

●包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

別売品のご紹介

- ACアダプター(DMW-AC9)
●2020年1月現在の品番です。

付属品の一部および別売品は販売店でお買い求めいただけます。パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニックストア」でお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「パナソニックストア」のサイトをご覧ください。

パナソニックグループのショッピングサイト
Panasonic Store
<http://jp.store.panasonic.com/>

「Technics Audio Connect」アプリを使う

「Technics Audio Connect」アプリ(無料)をインストールしたスマートフォンとBluetooth®接続をすることで、各種設定のカスタマイズや本機のソフトウェアアップデートなど、さまざまな機能をお楽しみいただけます。詳しくは、「取扱説明書 <詳細編>」(PDF形式)をご確認ください。

Android: Google Play
iOS: App Store

Google Play で手に入れよう
App Store からダウンロード

パナソニック株式会社 アプライアンス社
〒525-8520 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-1号 TEL (077) 563-5211
ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しくください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	危険	「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	してはいけない内容です。		実行しなければならない内容です。
--	--------------	--	------------------

危険

●本機(充電ケース)は、付属のUSB充電ケーブルを使い、指定の方法で充電する。指定外の方法で充電すると、電池の液漏れや、発熱、破裂の原因になります。

●水のかかるおそれのある場所で、本機(充電ケース)、USB充電ケーブルを使わない
本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

●本機は充電式電池を内蔵しています
●火中投入、加熱、高温での充電、使用・放置をしない
●電子レンジやオーブなどで加熱しない
発熱・発火・破裂の原因になります。

警告

●異常・故障時には直ちに使用を中止する
●充電ケースの充電時に異常があったときには、USB充電ケーブルを抜く
●イヤホンの充電中に異常があったときには、イヤホンを取り外す
●煙が出たり、異常なおいや音が出る
●内部に水や異物が入った
●本機やUSB充電ケーブルが破損した
そのまま使うと火災・感電の原因になります。
●本機に異常があるときは充電ケースからイヤホンを取り出して、販売店にご相談ください。

●USB充電ケーブルやプラグを破損するようなことはしない(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)
傷んだまま使用すると、ショートによる火災の原因になります。

●分解、改造をしない
機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。

●内部に異物を入れたり、水などの液体をかけたりめらしたりしない
特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になります。本機を絶対に放置しないでください。
火災の原因になることがあります。
また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますので、ご注意ください。

●本機が直接触れる耳や肌などに異常を感じたら使用を中止する
そのまま使用すると、炎症やかぶれなどの原因になることがあります。

●本機に磁気の影響を受けやすいものを近づけない
本機の磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。

●本機(イヤホン)は、乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
●万一、飲み込んだと思われるときには、すぐに医師にご相談ください。

●乗り物を運転中や、周囲の音が聞こえないと危険な場所で本機を使わない
事故の原因になります。
踏切や駅のホーム、車道、工事現場など、特にご注意ください。

●本機(イヤホン)を使用時は、音量を上げすぎない
耳を刺すような大きな音で長時間続けたら聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

●航空機内で使用する場合は、客室乗務員の指示に従う、もしくはご利用の航空会社へ使用条件を確認する
電波が影響を及ぼし誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

●自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない
本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

●病院内や医療用電気機器のある場所では使用しない
本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

●心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から15cm程度以上離す
本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

●満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合があるので、使用しない
本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

●本機(充電ケース)を医療機器の近くで使用しない
本機(充電ケース)には磁石を使用しているため、心臓ペースメーカーや除細動器などの医療機器の作動に影響を与える場合があります。これらの機器を使用していてご心配な方は、ご使用前に担当の医師にご相談ください。

注意

●イヤーピースは本機(イヤホン)にしっかり取り付ける
はずれて耳に残ると、けがや病気の原因になることがあります。

●本機(イヤホン)の接続前に音量を下げる
音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。
●音量は少しずつ上げてご使用ください。

●本機やUSB充電ケーブルの上に重い物を載せたり、乗ったりしない
落下すると、けがの原因になることがあります。
また、重量で外装ケースやコードのプラグが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

●異常に温度が高くなる場所に置かない
特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になります。本機を絶対に放置しないでください。
火災の原因になることがあります。
また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますので、ご注意ください。

●本機が直接触れる耳や肌などに異常を感じたら使用を中止する
そのまま使用すると、炎症やかぶれなどの原因になることがあります。

●本機に磁気の影響を受けやすいものを近づけない
本機の磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。

製品廃棄時の安全上のご注意は、「廃棄するときのお願い」をお読みください。

【重要】イヤホンの防滴について

イヤホンは、JIS C 0920(IEC 60529)「電気機械器具の外郭による保護等級(IPコード)」のIPX4相当の防滴仕様であり、完全防水仕様ではありません。

■IPX4(水の飛まつに対する保護等級)について
常温の水道水にて、イヤホンから約20cm離れて、あらゆる方向から約1.8L/分の水を10分間ノズル散水したあと、イヤホンが動作することに対応しています。
充電ケース、付属のUSB充電ケーブルは、防滴仕様ではありません。
※すべての条件での防滴を保証するものではありません。

■ぬれる可能性のある場所(水しぶき、雨など)での使用時のお願い
以下をお守りください。誤った使用は故障の原因になります。
●手がぬれた状態や本機(イヤホン、充電ケース)に水滴が付いたまま充電ケースの充電や、イヤホンの充電をしない。
●USB充電ケーブルを使用しない。
●石けん水や洗剤をかけた後、水の中に沈めたりしない。
●寒冷地で、水滴が付いた場合は、乾いた柔らかい布で拭く。
●イヤホンやマウスに水が付着した場合は、乾いた柔らかい布で拭く
→音が小さくなったり、歪むことがあります。
→イヤピースの穴の中に水滴が残っていると、音が小さく聞こえたり、音が聞こえなくなったりすることがあります。その際はイヤピースを取り外して水滴を取り除いてください。

万一、イヤホンまたは充電ケースに水が入った場合は使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。お客様の誤った取り扱いによる故障の場合は保証対象外となります。

使用上のごお願い

Bluetooth® について

■使用周波数帯
本機は2.4GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使用していることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

■周波数表示の見かた

① 2.4GHz帯を使用
② 変調方式がFH-SS方式で、電波と干渉距離40m以下
③ 変調方式がその他の方式で、電波と干渉距離40m以下
※ 2.402GHz～2.480GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

Bluetooth® 機器使用上の注意事項
この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえで、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーテーションの設置など)についてご相談してください。
③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先: パナソニック株式会社
DIGA(ディーガ)・オーディオご相談窓口(→裏面)

■機器認定
本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
●分解/改造する

■使用制限
●日本国内でのみ使用できます。
●すべてのBluetooth®機能対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
●ワイヤレス通信するBluetooth®機能対応機器は、The Bluetooth SIG, Inc.の定める標準規格に適合し、認証を受けている必要があります。ただし、標準規格に適合している機器であっても、機器の仕様や設定により接続できないことがあり、操作方法・表示・動作を保証するものではありません。
●Bluetooth®標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。ワイヤレス通信時にご注意ください。
●ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報の漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■技術マーク表示
本機(イヤホン)の技術マーク表示は右記の通りです。

001A16235 001A16236
左用認証番号 右用認証番号

- 使用可能距離
見通し距離約10m以内で使用してください。間に障害物や近くに干渉機器がある場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。
- 他機器からの影響
●磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなる場合があります。
-電子レンジ
-デジタルコールドレス電話機
-その他2.4GHz帯の電波を使用する機器の近く(ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など)
-電波が反射しやすい金属物などの近く
●放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に動作しないことがあります。

■用途制限
本機は一般用途を想定したものであり、ハイセイティブ用途®での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
ハイセイティブ用途に使用しないでください。
●ハイセイティブ用途とは、以下のような、直接生命・身体に重大な危険性を伴う制御において、きわめて高度な安全性が要求される用途のことをいいます。
例: 原子力施設における核反応制御 / 航空機自動飛行制御 / 航空交通管制 / 大量輸送システムにおける運航制御 / 生命維持のための医療機器 / 兵器システムにおけるミサイル発射制御など

ご使用について

- 使用・保管場所について
●直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高い場所に置かない。
●ほこりの多い場所に置かない。
●振動の多い場所に置かない。
●風呂場など、湿気の多い場所で使用したり、置いたりしない。
●充電時や保管時は充電ケースのふたを閉じてください。
●イヤピースは誤飲防止のため、乳幼児の手の届くところに置かないでください。
- 取り扱いについて
●落としたりぶつけたりなど強いショックを与えないでください。故障の原因となります。
●水、洗剤で洗わないでください。
●充電ケースのふたは無理に開けないでください。
- 音量について
●騒音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

仕様

■総合	
電源(充電ケース)	DC 5 V, 500 mA
内蔵電池	イヤホン: 3.7 V, リチウムポリマー 充電ケース: 3.7 V, リチウムポリマー
再生時間(イヤホン単体)*1	約6.5時間(ノイズキャンセリング ON, AAC) 約6時間(ノイズキャンセリング ON, SBC)
短時間充電時再生時間*1	15分充電、約70分再生(ノイズキャンセリング ON, AAC) 15分充電、約60分再生(ノイズキャンセリング ON, SBC)
再生時間(充電ケース含む)*1	約19.5時間(ノイズキャンセリング ON, AAC) 約18時間(ノイズキャンセリング ON, SBC)
充電時間*2(25℃)	イヤホン: 約2時間 充電ケース: 約2.5時間 イヤホン + 充電ケース(同時充電): 約4時間
充電推奨温度範囲	10℃～35℃
使用温度範囲	0℃～40℃
使用湿度範囲	35%RH～80%RH(結露なきこと)
質量	イヤホン: 約7g(片側のみ: LR同値) 充電ケース: 約65g
■Bluetooth®部	
通信方式	2.4GHz band FHSS
対応プロファイル	A2DP, AVRCP, HSP, HFP
対応コーデック	SBC, AAC
■充電ケース	
充電端子	USB Type-C 形状
■防水性能	IPX4相当(イヤホン部のみ)

*1 使用条件によって短くなる場合があります。
*2 電池残量がない状態から満充電にかかる時間です。
●この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

お手入れ

- 乾いた柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水に濡した布をよこ絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤または化学雑巾は、外装が変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 充電端子に付いたほこりなどは乾いた柔らかい布でふきとってください。
先のとがったものは使用しないでください。
- 電池性能の維持
- 長期間使用しない場合は、本体内蔵の電池の性能維持のため、6か月に1回は満充電ししてください。
- イヤピースは長期間ご使用すると消耗します。イヤピースの交換はお買い上げの販売店または修理ご相談窓口にご相談ください。(→裏面)

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確認してください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

症状	原因と対応のしかた
Bluetooth® 機器と接続されない	●Bluetooth® 機器のBluetooth®メニューなどから本機登録情報をいったん消去し、登録をやり直してください。(→「Bluetooth® 機器に接続する」(裏面))
音が出ない	●イヤホンとBluetooth® 機器を機器登録/接続し直してください。(→「Bluetooth® 機器に接続する」(裏面)) ●Bluetooth® 機器側が「A2DP」プロファイルに対応しているか、確認してください。
音が途切れる 雑音が多い 音質が悪い	●Bluetooth® 通信使用可能距離(約10m)を超えていませんか。イヤホンとBluetooth® 機器を近づけてください。 ●使用していない無線LAN機器の電源を切ってください。
通話できない	●Bluetooth® 機器側が「HSP」または「HFP」プロファイルに対応しているか確認してください。プロファイルについては「音楽を聴く」(→裏面)や「通話する」(→裏面)をご参照ください。また、Bluetooth® 対応電話機の取扱説明書もご覧ください。
音が小さい 通話相手の声が小さい	●イヤホンの音量だけでなくBluetooth® 機器の音量も上げてください。
左右で電池の減りかたが異なる	●電圧状況や使用状況により、左右で異なる場合があります。
充電できない	●室温は10℃から35℃で充電してください。 ●満充電状態ではありません。満充電状態の場合には充電ケースLEDはすぐに消えます。 ●イヤホンが充電ケースに正しく挿入されていますか。(→裏面「充電する」) ●イヤホンを充電ケースに入れても、イヤホンLEDが点灯しない場合は充電ケースの電池残量がありません。まず充電ケースを充電してください。 ●USB充電ケーブルがパソコン、またはACアダプター(別売: DMW-AC9)のUSB端子にしっかりと接続されていますか。(→裏面「充電する」) ●充電時間と動作時間が短くなった場合は、イヤホンおよび充電ケース内蔵の電池が消耗している可能性があります。(内蔵電池の充電回数: それぞれ約500回)
イヤホンを操作できない	●電源を入/切してください。(→裏面「イヤホンの電源を入れる/切る」)
イヤホンの電源が入らない	●一度充電ケースに入れて、イヤホンLED(赤)が点灯したあと、取り出してみてください。
充電ケースのふたを開けても充電ケースLEDが点灯しない	●電池の残量がない状態です。USB充電ケーブル(付属)を使って充電してください。(→裏面「充電する」) ●充電ケースからイヤホンを取り出し、USB充電ケーブルを抜いてから、ふたを開けて3分間放置してください。そのあと、充電ケースのふたを開けて、電源が入ることを確認してください。

著作権など

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。パナソニック株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
Apple, Apple logo, Siri は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
Google, Android, Google Play および Google Play logo は Google LLC の商標です。QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。
その他、本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中では™、®マークは一部記述していません。

この製品には、GPL V2.0, LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェアを使用しています。上記に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、下記 URL をご確認ください。
<https://www.panasonic.com/jp/support/consumer/digital/headphone.html>

廃棄するときのお願い

内蔵している電池はリサイクル可能な貴重な資源です。本機の廃棄に際しては、一般ごみ(不燃ごみ)と一緒に廃棄せず、お住まいの市区町村の条例に従ってください。

危険

●本機専用の電池のため、本機以外に使用しない
●電池の投入/取出し、充電しないでください。
●火への投入、加熱をしないでください。
●くぎで刺したり、衝撃を与えたり、分解をしないでください。
●火のそばや炎天下など高温の場所に放置しないでください。
●ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しないでください。
●水中への投入をしないでください。
発熱・発火・破裂の原因になります。

警告

●電池残量がなくなってから廃棄する
製品廃棄後に、発熱・発火・破裂を起こす原因となります。

●電池の液がもれたときは、素手でさわらない
液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。
●目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やかゆの原因になります。
●きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

充電式
リチウムイオン電池使用
Li-ion 00

パナソニック株式会社 アプライアンス社
〒525-8520 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-1号
© Panasonic Corporation 2020
PNQW5809YA
F0120MH1010

装着のしかた

十分なノイズキャンセリングの効果および音響特性を得るために、イヤホンを正しく装着してください。イヤピースは左右それぞれ耳の孔に合うサイズの専用イヤピースを選んで装着してください。

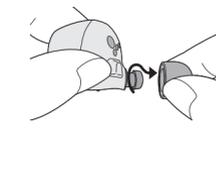
■イヤホンの装着方法

イヤホンを左右に少しずつ回転させながら、しっかりと装着してください。

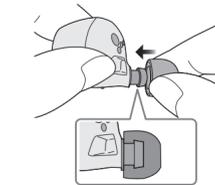
- 装着後、イヤホンが耳から落ちないか確認してください。
- 左側のイヤホンには、突起部(L側認識凸)があります。

■イヤピースを選ぶ

イヤピースの取り外し方



イヤピースの取り付け方

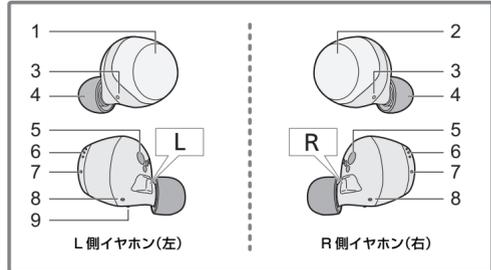


- しっかりと奥まで取り付け、イヤピースが斜めになっていないか確認してください。

各部のなまえ

本体(イヤホン)

(本文中ではイヤホンと表記します)



- タッチセンサー(L)(左)
- タッチセンサー(R)(右)
- タッチすることで、さまざまな操作ができます。(→ 右記「タッチセンサーで操作する」)
- 通話マイク
- イヤープース
- 充電端子
- ノイズキャンセリング用マイク
- イヤホン LED※1,3
- ドライバー(背面ポートで操作する)
- L側認識凸
- 充電端子
- ノイズキャンセリング用マイク
- イヤホン LED※1,3
- ドライバー(背面ポートで操作する)
- R側認識凸

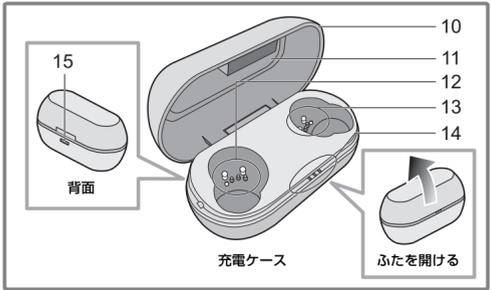
※1 イヤホン LEDの点灯・点滅の一例

両方のイヤホン LED(LとR)が交互に青と赤で点滅	Bluetooth® のペアリング(登録)待機時
ゆっくり点滅(青)※2	Bluetooth® の接続待機時
約5秒間隔で2回点滅(青)※2	Bluetooth® の接続時(音楽再生時/通話時など)
点滅(青)※2	着信中

※2 赤で点滅している場合は、電池の残量が少なくなっています。

※3 充電中の点灯・点滅については「充電する」(→ 右記)をお読みください。

本体(充電ケース)
(本文中では充電ケースと表記します)



- 充電ケースふた
- 定格ラベル
- 製品番号は定格ラベルに記載されています。
- 端子部(L側イヤホン用)
- 端子部(R側イヤホン用)
- 端子部に素手が触れないでください。
- 充電ケースLED※4
- 充電端子
- 充電時に、USB充電ケーブル(付属)を接続します。(→ 下記「充電する」)

※4 充電中の点灯・点滅については「充電する」(→ 下記)をお読みください。

本製品(付属品を含む)に表示の記号は以下を示しています。

=== DC(直流)

充電する

お買い上げ時は、まず充電してからお使いください。

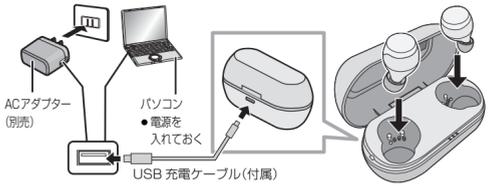
- イヤホン、充電ケースの端子部にほこりや水滴が付いている場合は、正しく充電できません。ほこりや水滴を取り除いてから充電してください。

●お知らせ

- 室温が10℃から35℃のときに、充電できます。
- 充電中は、電源を入れることやBluetooth® 機器に接続することはできません。

USB充電ケーブル(付属)を使ってイヤホン、充電ケースを充電する

イヤホンを充電ケースに入れていないときは、充電ケースのみを充電します。



- USB充電ケーブルで、充電ケースをパソコン、またはACアダプター(別売:DMW-AC9)に接続する
 - 充電ケースの充電が始まります。充電ケースの充電中は充電ケースLED(白)が点灯または点滅します。消灯すると充電完了です。
 - USB充電ケーブルは端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。(斜めに差したとき、向きを逆にするなど、端子が変形して故障の原因になります)
- イヤホンを充電ケースに入れる
 - イヤホンのL側、R側を確認し、充電ケースの端子部とイヤホンの充電端子の位置を合わせてください。(位置が合わないときイヤホンの充電が始まりません)
 - イヤホンをお使いの状況により、充電ケースに入れたときのイヤホンLEDの点灯のしかたが異なります。

イヤホンをお使いの状況	イヤホン LEDの点灯のしかた
初めて充電するとき(お買い上げ時)	イヤホンを充電ケースに入れて、約5秒後にイヤホンLED(赤)が点灯します。
2回目以降に充電するとき(イヤホンに電池残量があるとき)	イヤホンを充電ケースに入ると、イヤホン LED(赤)が約3秒点灯して、いったん消灯します。約5秒後、イヤホンLED(赤)が再点灯します。 <ul style="list-style-type: none">イヤホンLED(赤)が再点灯しないときは、イヤホンが満充電になっています。
電池残量がなくなっているとき(イヤホンに電池残量が完全にないとき)	イヤホンを充電ケースに入れて、約5秒後にイヤホンLED(赤)が点灯します。

3 イヤホン LED(赤)が点灯していることを確認する(充電開始)

- イヤホンの充電中はイヤホンLED(赤)が点灯します。消灯すると充電完了です。
- 電池残量がない状態から満充電にするまでの時間
 - イヤホンのみ充電する場合には、約2時間かかります
 - 充電ケースのみ充電する場合には、約2.5時間かかります
 - イヤホンと充電ケースを同時に充電する場合には、約4時間かかります

●お知らせ

- パソコンがスタンバイまたはスリープ状態になっていると、充電されないことがあります。
- 付属のUSB充電ケーブルまたは当社製ACアダプター(別売:DMW-AC9)以外は使わないでください。故障の原因になります。
- 別製品の取扱説明書「安全上のご注意」も併せてお読みください。

充電ケースでイヤホンを充電する

充電済の充電ケースのみでイヤホンを充電します。外出先など、電源のないところでもイヤホンを充電することができます。

充電ケースが満充電のとき、イヤホン約2回分の充電ができます。

- イヤホンを充電ケースに入れる
 - イヤホンLED(赤)が点灯します。点灯のしかたは「USB充電ケーブル(付属)を使ってイヤホン、充電ケースを充電する」(→ 左記)の手順2をご覧ください。
- イヤホン LED(赤)が点灯していることを確認する(充電開始)
 - イヤホンの充電中はイヤホンLED(赤)が点灯します。消灯すると充電完了です。
 - 電池残量がない状態からイヤホンを満充電するには、約2時間かかります。

電池残量のお知らせ

本機はLEDの点灯または点滅で電池残量をお知らせします。

■イヤホン

イヤホン使用中に電池の残量が少なくなると、イヤホンLEDの点滅が青から赤に変わり、5分間に1回電子音が鳴ってお知らせします。残量がなくなると音声ガイダンスが流れ、自動的に電源が切れます。

■充電ケース

充電ケースふたを開けると、充電ケースLEDが点灯または点滅して電池残量をお知らせします。

充電ケースLEDの状態	電池残量の状態
3つ点灯	電池残量は十分にあります。
↑	
1つ点灯	電池残量が少ない状態です。充電をお勧めします。

- 充電ケースLEDが1つ点滅しているときは、さらに電池残量が少なくなっています。充電してください。
- 充電ケースふたを開けても充電ケースLEDが点灯しないときは、電池残量がありません。充電してください。

イヤホンの電源を入れる／切る

■イヤホンの電源を入れるには

充電ケースからイヤホンを取り出す

- イヤホンの電源が入ります。電子音が鳴り、イヤホン LED(青)※ がゆっくりと点滅します。
 - ※ 赤で点滅している場合は、電池の残量が少なくなっています。

■イヤホンの電源を切るには

イヤホンを充電ケースに入れる

- イヤホンをお使いの状況により、充電ケースに入れたときのイヤホンLEDの点灯のしかたが異なります。点灯のしかたは「USB充電ケーブル(付属)を使ってイヤホン、充電ケースを充電する」(→ 左記)の手順2をご覧ください。

●お知らせ

- イヤホンを使用中に、磁力を持ったものを近接させると、イヤホンの電源が「切」になる場合があります。その場合には、磁力を持ったものを遠ざけてください。

Bluetooth® 機器に接続する

準備

- イヤホンを充電ケースに入れておく。
- Bluetooth® 機器はイヤホンから約1m以内に近づけておく。
- 必要に応じて、機器の取扱説明書で操作方法などを確認しておく。
- 「Technics Audio Connect」アプリ(無料)を使うとBluetooth® の接続がかんたんに行えます。

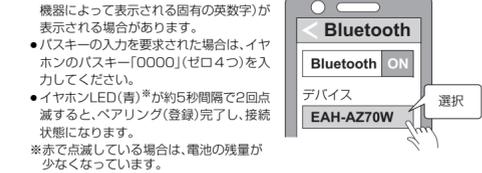
イヤホンをBluetooth® 機器にペアリング(登録)して接続する

1 充電ケースから両方のイヤホン(LとR)を取り出す

- 初めて機器を登録する場合:
 - 接続するBluetooth® 機器の検索を始め、イヤホンLEDが交互に青と赤の点滅をします。
- 2回目以降の機器を登録する場合:
 - イヤホンLED(青)が点灯している間(約3秒)に、タッチセンサー(LまたはR)を約7秒タッチしたままにすると、イヤホンLEDが交互に青と赤の点滅をします。

- Bluetooth® 機器の電源を入れ、Bluetooth® 機能を有効にする
- Bluetooth® 機器のBluetooth® メニューから、機器名「EAH-AZ70W」を選択する

例)



4 イヤホン Bluetooth® 機器が接続状態になっていることを確認する

●お知らせ

- 5分以内に機器の接続が完了しなかったときは、イヤホンがペアリングモードを解除して接続待機状態になります。登録をやり直してください。
- イヤホンに登録できるBluetooth® 機器は最大10台です。最大登録数を超過して登録すると上書きされます。再度お使いいただくには、登録をやり直してください。

登録済みのBluetooth® 機器と接続する

- 充電ケースからイヤホンを取り出す
 - イヤホンLED(青)が点灯し、約3秒後にイヤホンの電源が入ります。電子音が鳴り、イヤホンLED(青)※ がゆっくりと点滅します。
 - ※ 赤で点滅している場合は、電池の残量が少なくなっています。
- 「イヤホンをBluetooth® 機器にペアリング(登録)して接続する」の手順2,3を行う
- イヤホンとBluetooth® 機器が接続状態になっていることを確認する

●お知らせ

- イヤホンは、最後に接続した機器を記憶しています。手順1(→ 上記)のあとに自動接続する場合があります。

音楽を聴く

Bluetooth®対応機器が「A2DP」と「AVRCP」のBluetooth®プロファイル対応であれば、イヤホン側でリモコン操作して音楽再生などができます。

- A2DP(Advanced Audio Distribution Profile):イヤホンに音を伝送します。
- AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile):イヤホン側でリモコン操作できます。

- Bluetooth® 機器とイヤホンを接続する(→ 上記「Bluetooth® 機器に接続する」)
- Bluetooth® 機器側で、聴きたい音楽や動画などを選んで再生する

- イヤホンから、再生した音楽や動画の音声が出力されます。
- 音楽再生時の操作方法について(→ 右記「タッチセンサーで操作する」)
- 再生時間は使用条件によって短くなる場合があります。

■お願い

- 音量によってはイヤホンから音漏れしますので、お気をつけください。
- イヤホンの音量を最大近くまで上げると、音楽などがひずんで聴こえるときがあります。その場合は、ひずみずに聴こえるまで音量を下げてください。

通話する

Bluetooth®対応電話機(携帯電話、スマートフォンなど)が「HSP」または「HFP」のBluetooth®プロファイル対応であれば、イヤホン側で通話ができます。

- HSP(Headset Profile):イヤホンでモノラル音声の受信と、マイクで音声の送信ができます。
- HFP(Hands-Free Profile):HSPの機能に加え、通信の発信・着信機能を持っています。(イヤホンには発信機能はありません)

- Bluetooth® 対応電話機とイヤホンを接続する(→ 左記「Bluetooth® 機器に接続する」)
- イヤホン側でタッチセンサー(LまたはR)を1回タッチして、着信した電話を受ける

- 着信中、イヤホンから着信音が鳴り、イヤホンLEDが点滅します。
- (HFPのみ)着信拒否するには、タッチセンサー(LまたはR)を約2秒タッチしたままにしてください。

3 通話する

- 通話中はイヤホンLEDが2回ずつ繰り返して点滅します。
- 通話時音量を調整できます。設定方法について(→ 右記「タッチセンサーで操作する」)

- イヤホンのタッチセンサー(LまたはR)を約2秒タッチしたままにして、通話を終了する

●お知らせ

- Bluetooth®対応電話機側でハンズフリー通話設定の操作などが必要な場合があります。
- Bluetooth®対応電話機によっては、Bluetooth®対応電話機側の着信音や呼出音がイヤホンから聴こえる場合もあります。
- イヤホンのマイクと機器側のアプリケーションを使うことによって、Bluetooth® 対応機器を発信させることができます。(→ 「音声アシスタント機能を起動させる」(右記))

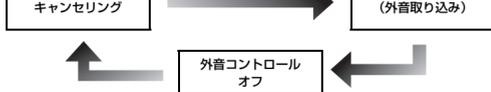
4 イヤホン Bluetooth® 機器が接続状態になっていることを確認する

●お知らせ

- 5分以内に機器の接続が完了しなかったときは、イヤホンがペアリングモードを解除して接続待機状態になります。登録をやり直してください。
- イヤホンに登録できるBluetooth® 機器は最大10台です。最大登録数を超過して登録すると上書きされます。再度お使いいただくには、登録をやり直してください。

外音コントロールを使う

外音コントロール機能はノイズキャンセリングとアンビエント(外音取り込み)を切り換える機能です。音質はそれぞれのモードで最良になるよう設定されています。



- イヤホンを装着中にタッチセンサー(R)を約2秒タッチしたままにする
 - 長押しするたびに、モードを切り換えることができます。(切り換えたモードを音声ガイダンスでお知らせします)
- 再生機器の音量を調整する

■ノイズキャンセリング

外から聞こえる音(ノイズ)を低減します。

- ノイズキャンセリングを使用中は、ノイズを低減する回路から僅かなノイズが聞こえる場合がありますが、故障などではなく、正常な状態です。(僅かなノイズは、静かな場所や曲調の無音時に聞こえる場合があります。)

■アンビエント(外音取り込み)

外の音をマイクから取り込んで、イヤホンから再生します。イヤホンを外すことなく、周囲の音を聞くことができるので、電車の車内アナウンスなどを聞くことができます。

便利な機能

「Technics Audio Connect」アプリを使う

「Technics Audio Connect」アプリ(無料)をインストールしたスマートフォンとBluetooth® 接続すると、イヤホンの設定を変更したり、さまざまな機能をお楽しみいただけます。(→ 裏面)

音声アシスタント機能を起動させる

イヤホンのタッチセンサーを使って、Siri またはその他の音声アシスタント機能を起動させることができます。

- Bluetooth® 機器とイヤホンを接続する(→ 左記「Bluetooth® 機器に接続する」)
- タッチセンサー(L)を約2秒タッチしたままにする
 - Bluetooth® 機器の音声アシスタント機能が起動します。

●お知らせ

- 音声アシスタント機能の音声コマンドの詳細について、詳しくはBluetooth® 機器の取扱説明書をお読みください。
- スマートフォンの仕様やアプリケーションのバージョンによっては、音声アシスタント機能が働かない場合があります。

片方のイヤホンのみで使う

本機は、あらかじめペアリング(登録)しておく、片方のイヤホンのみでも使うことができます。(→ 左記「Bluetooth® 機器に接続する」)音はモノラルです。もう片方のイヤホンを充電ケースから取り出すと、イヤホン同士が自動的に無線接続され、両方での使用に切り換わります。音質はステレオになります。

タッチセンサーで操作する

イヤホンのタッチセンサーでイヤホン进行操作したり、Bluetooth® 機器をリモコン操作したりできます。

- Bluetooth® 機器やアプリケーションによっては、イヤホンのタッチセンサーを操作しても、一部の機能が動作しない場合や、下記とは異なる動作をする場合があります。

■タッチセンサーの操作一覧

	タッチセンサー(L)	タッチセンサー(R)	
音楽を聴く	再生・一時停止	1回タッチ	1回タッチ
	音量を上げる	素早く3回タッチ	—
	音量を下げる	素早く2回タッチ	—
	曲送り	—	素早く2回タッチ
通話する	電話を受ける	着信中に、1回タッチ	着信中に、1回タッチ
	着信拒否する	着信中に、約2秒タッチ	着信中に、約2秒タッチ
通話を終了する	通話中に、約2秒タッチ	通話中に、約2秒タッチ	
外音コントロールを切り換える	—	約2秒タッチ	
音声アシスタントを起動する	約2秒タッチ	—	
Bluetooth® のペアリングモード※1にする	イヤホンLED(青)が点灯している間※2に、約7秒タッチ	イヤホンLED(青)が点灯している間※2に、約7秒タッチ	
工場出荷設定に戻す	—	(→ 右記「工場出荷設定に戻す」)	

※1 両方のイヤホンLED(LとR)が交互に青と赤の点滅をしている状態

※2 充電ケースから両方のイヤホン(LとR)を取り出したあとイヤホンLED(青)が点灯している間(約3秒間)

●お知らせ

- 片方のイヤホンのみで使う場合は、使う側のイヤホンで行う操作のみ可能です。
- 音量を最大または最小の段階までタッチすると電子音が鳴ってお知らせします。

工場出荷設定に戻す

イヤホンを工場出荷設定に戻す前に、イヤホンを充電してください。

- 充電ケースからR側イヤホンを取り出す
- イヤホンLED(青)が点灯している間に、タッチセンサー(R)を約7秒タッチしたままにする
 - イヤホンLEDが交互に青と赤の点滅になります。
- タッチセンサー(R)を約10秒タッチしたままにする
 - イヤホンLED(青)が高速点滅し、電源が切れると、お買い上げ時の状態に戻ります。
- L側イヤホンも同様に上記の手順1〜3を行う

●お知らせ

- Bluetooth® 機器をイヤホンに再度登録するためには、その機器側で登録情報(機器名「EAH-AZ70W」)を消去してから、再度Bluetooth® 機器にイヤホンを登録してください。(→ 左記「Bluetooth® 機器に接続する」)

保証とアフターサービス(よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	()	—
電話	()	—
お買い上げ日	年	月 日

修理を依頼されるときは

「故障かな?」(→ 裏面)でご確認のあと、直らないときは、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

●製品名	ワイヤレスステレオイヤホン
●品番	EAH-AZ70W
●故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従ってご購入の販売店が修理をさせていただきますので、おそれますが、製品に保証書を添えてご持参ください。保証期間: お買い上げ日から本体1年間

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。修理料金は次の内容で構成されています。
 - ※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

- ※ 補修用性能部品の保有期間 6年
- 当社は、本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後6年保有しています。

- 転居や贈品などでご困りの場合は、右記のDIGA(ディーガ)・オーディオご相談窓口、修理ご相談窓口にご連絡ください。

「ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについて」

- パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談・対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知させていただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

修理時は以下のすべてをご持参ください

●充電ケース	●イヤホン	●USB充電ケーブルなど付属品(→ 裏面「付属品」)	●保証書(本書に添付)
--------	-------	----------------------------	-------------

パナソニック 総合お客様サポートサイト
http://www.panasonic.com/jp/support/

使い方・お手入れなどのご相談

DIGA(ディーガ)・オーディオご相談窓口
0120-878-982

上記電話番号がご利用いただける場合 FAXフリーダイヤル
06-6907-1187 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03)3256-5444 Osaka (06)6645-8787
Open:9:00-17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

修理に関するご相談

修理ご相談窓口

0120-878-554

上記電話番号がご利用いただける場合 FAXフリーダイヤル
03-6633-6700 0120-878-225

便利な修理サービスサイト
http://club.panasonic.jp/repair/

- ご使用の回線(IP電話やかり電話など)によっては、回線の遅延時に数分で切れる場合があります。
- 上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。
- 掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通話料金はお客様ののご負担となります。(「ネット定額サービス」に未加入の場合、高額になる可能性があります)

「CLUB Panasonic」で「ごユーザー登録」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理、抽選で商品券などができる
詳しくはこちら http://club.panasonic.jp/aiyo/

「**無料修理規定**」

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきます。お買い上げの販売店にお申し込みください。(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、修理ご相談窓口にご連絡ください。
 - ※ 修理料金は次の内容で構成されています。
 - ご転居の場合の修理依頼先等は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にご相談ください。
 - ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けにならない場合には、修理ご相談窓口へご連絡ください。
 - 保証期間中でも次の場合には原則として有料とさせていただきます。(イ) 修理上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。(ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷(火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、増害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷。(ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。(ホ) 電池や、消滅または摩耗した部品交換の場合(イ)一般家庭用以外(例えば業務用等)に使用された場合の故障及び損傷。(ト) 本書のご交付がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (リ) 持込修理の対象商品を含む直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
 - 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
 - 保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
 - This warranty is valid only in Japan.

※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。
- ※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
- ※This warranty is valid only in Japan.